



すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指して 大澤知事に『政策・制度』を提出

地震や自然災害、食品への農薬混入・偽装、さらには、通り魔無差別殺人などの凶悪事件を踏まえ「安全・安心」を意識した「県民意識調査」を実施し、組合員や県民の皆さんにご協力をいただき、10,390名の回答を集約しました。その回答を基に県民ニーズを検証・分析した上で、「政策・制度要求と提言」を策定し、「県民の声」として今後の行政運営に反映してもらえるよう要請しました。



大橋会長

大澤知事

8月21日、群馬県知事に対し『2009年度政策・制度要求と提言』を提出しました。

冒頭、大橋会長より「県民意識調査を展開し、幅広い層の1万人県民から集約し政策制度をまとめている。群馬県民の貴重な声として行政運営に活用していただきたい。本年は先め提言の方向性を定め、調査を展開し『安全・安心』を意識した提言を策定した。県民の声として受け止めていただきたい」と挨拶をしました。

政策提言の内容説明を受けて大澤知事からは、「連合群馬には、引き続き貴重な県民の声として調査いただき感謝する。今後も一体となって県の発展に向け取り組みたい。」とのコメントが述べられました。

要請した8分野21項目

I 雇用・労働対策について

1. 県と労働局が連携し雇用のミスマッチ解消
2. シニア就業支援センターの検証と地域ニーズの把握
3. 企業誘致による新たな雇用創出と補助金制度の導入
4. 職場の中小企業支援に向けた予算配分の継続

II 行政運営

1. ぐんま総合情報センターを中心にした新戦略の検証
2. 男女共同参画センター設置に伴う役割・機能の充実

III 福祉・社会保障

1. 医療体制の整備・充実と医師不足解消
2. 後期高齢者医療制度の高齢者への支援体制
3. 医療費補助で子育て支援の充実

IV 教育

1. 不審者対策の充実
2. 学校給食の「安全・安心」の推進
3. 学校校舎耐震化計画の策定と早急な耐震化の実施
4. いじめの陰湿化に伴う、学校・家庭・地域での教育の充実

V 環境

1. 県民参加を目指したPR活動の強化マイエコバック（バスケット）の普及啓発
2. 「クールビズ」運動への取り組み強化
3. 循環型社会づくりの推進
4. 新工ネルギー導入の推進
5. 食の「安全・安心」について県民の不安解消について

VI 防犯

1. 警察官増員による「パトロールの強化」

VII 防災

1. 食糧備蓄を県民にPR

VIII 喫緊の課題

1. 裁判員制度導入に向けた県民不安解消への取り組み強化

政策フォーラムで県民の声を反映!

7月26日、産別・地協・議員懇・県民など200名が参加する中、前橋市総合福祉会館で開催し、昨年の提言に対する回答結果や県民意識調査報告、政策提言素案を説明しました。その後参加者との意見交換をおこない、出された意見については精査し、提言に盛り込むもの・次年度への課題に整理しました。

第2部では、①連合群馬政策アドバイザーの新木睦子さんから外部から見た政策制度提言についての講演、②議員懇代表の黒沢県議から、県議から見た政策制度と県議の立場での連合

の政策に対するフォローと連携について報告がありました。その後の意見交換では、深刻化する食料自給率などの農業政策への今後の取り組みなどに対し、提起がありました。



意見提起する参加者